

平成 29 年度	環境部の取り組み実績
	<部の構成> 環境総務課、減量業務室、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所、 環境保全課、環境指導課

1. 重点施策・事業

(1) 可燃ごみ広域処理施設の整備	
目標	平成 28 年 5 月に設立した枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価の実施など、京田辺市と連携しながら、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、取り組みを進めます。 平成 29 年度当初予算：110,379 千円
実績	枚方京田辺環境施設組合により計画段階環境配慮書が 4 月に、環境影響評価方法書が 1 月に京都府知事に提出され、環境影響評価方法書の市民説明会が 2 月 9 日、11 日に開催されました。 枚方京田辺環境施設組合により地質調査が実施されました。 円滑にごみ行政を含めた広い視野での相互交流・協力について協議する体制として、平成 29 年 10 月に両市長・担当副市長・担当部長を委員とする「ごみ行政に係る政策連絡調整会議」を設置し、平成 30 年 1 月に会議を開催しました。 平成 29 年度決算：73,767 千円
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(2) 地球温暖化対策の推進とごみ減量の取り組み	
目標	地球温暖化対策実行計画を改定し、市民・市民団体・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省 CO ₂ 活動、4R の普及・啓発によるごみの減量・リサイクルなどの取り組みを推進することにより、市域で排出される温室効果ガスの削減を図ります。
取り組み	「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定作業を進めるとともに、「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の次期計画を策定します。また、環境にやさしいライフスタイルへの転換やペットボトル・プラスチック製容器包装、紙類等のごみの資源化を促進するため、引き続き情報発信・啓発活動等に取り組みます。 平成 29 年度当初予算：272,054 千円

実績	<p>枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について、8月に環境審議会へ諮問を行い、3月に答申を受けました。また、枚方市地球温暖化対策協議会と連携し、エコライフキャンペーン、ライトダウンキャンペーンや緑のカーテンコンテストなどの普及・啓発活動を実施しました。さらに、広報ひらかたや市ホームページ等による情報発信をはじめ、市内小学校全校にごみカレンダーを配布するなど、ごみ減量に関する啓発を行うとともに、6月から出張回収品目に紙とおもちゃ（主に製品プラのリユース目的）を加えて、リサイクルなどの取り組みを実施しました。</p> <p>平成29年7月より食品ロスを削減するため、本市独自の枚方市「食べのこサンデー」運動を展開しています。</p> <p>この運動が市民に親しんでいただけるよう平成30年2月1日から3月30日までロゴマークの募集を行いました。</p>
	<p>平成29年度決算：1,230千円（107千円（減量業務室分） + 1,123千円（環境保全課分））</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p>

【 ◎ 】

（3）空き家・空き地対策の推進	
目標	<p>管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく枚方市空家等対策計画を策定し、本市における総合的な空家等対策に取り組みます。</p>
取り組み	<p>枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例を平成29年4月より施行し、空き家と同様に管理不良な空き地等に対する指導等を行います。また、法に基づく空家等対策計画を策定します。</p> <p>平成29年度当初予算：10,149千円</p>
実績	<p>空家等対策を進めるため、法に基づく計画を策定するとともに、法や条例に基づき、管理不良な空き家や空き地に対する指導を行いました。平成29年度の相談件数は308件（空き家179件、空き地129件）。また、12月に枚方市空家等対策計画を策定しました。</p> <p>平成29年度決算：8,239千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	

【 ○ 】

（4）淀川衛生工場し尿処理施設の整備	
目標	<p>淀川衛生工場の処理設備の老朽化や公共下水道の普及に伴うし尿等の処理量の減少に対応し、効率的・効果的な処理を行うため、平成29年度中にし尿等の希釈放流を開始します。</p>
取り組み	<p>し尿等の希釈放流の開始に向けた施設の改造工事を行います。</p> <p>平成29年度当初予算：357,000千円</p>

実績	地元コミュニティ協議会等と情報共有を行いながら工事を進め、平成 29 年 12 月 18 日から希釈放流を開始しました。
	平成 29 年度決算：310,406 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) 市民との協働による環境施策の推進	
目標	第 6 回目となる市民参加型の枚方市自然環境調査を実施するとともに、アダプトプログラムを推進させることで、市民の環境への関心と理解を深め、市域の環境保全に取り組めます。
取り組み	平成 30 年度にかけて市民参加による自然環境調査を実施するとともに、市民との協働によりアダプトプログラム実施団体による美化活動の支援を継続し、環境保全に対する市民の理解と関心を深めます。
	平成 29 年度当初予算：9,233 千円
実績	枚方市自然環境調査の実施に向け、広報で調査員を募集、8 月に説明会を開催しました。平成 29 年度は市民参加型の調査を 9 回実施しました。(参加者：137 人) また、引き続きアダプトプログラム実施団体への支援を行い、環境保全に対する市民の理解と関心を深めた。実施団体数は 1 団体増え、61 団体となりました。
	平成 29 年度決算：7,248 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営改善を促進するため、中期経営プランに掲げる会員数の増加等の目標について進行管理を行います。
実績	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営基盤を強化するため、当該団体との協議を行い、中期経営プランに掲げている 4 つの目標「魅力向上による会員数の拡大」、「財政基盤の強化」、「事業内容の充実」、「事業に対する認知度の向上」について、半期ごとに目標達成に向けた進捗確認を行うとともに、状況に応じて、取り組みの見直しを検討することにより、中期経営プランの進捗管理を行うことを確認しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
25. 大気汚染測定局の配置等の見直し	市が設置している大気汚染測定局の配置等の見直しに向け、大気環境や交通量などについて、各測定局間の変化の状況を把握します。
実績	大気環境や自動車交通量等について各測定局における状況変化の把握を行い、平成28年度に実施した大気環境測定結果を環境データ集としてとりまとめ、公表しました。また、第二京阪道路環境監視の在り方に関する検討会等においても、大気環境や自動車交通量等の状況変化を把握し、関係機関と共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	淀川衛生工場は、処理設備の老朽化や処理量の減少に対応するため、し尿等を希釈して公共下水道へ放流する施設に整備し、効率的・効果的な処理を行います。
実績	施設の改造工事を実施し、平成29年12月18日に希釈放流を開始しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
27. ごみ焼却量の削減	手付かず食品等の発生抑制や紙類等のリサイクルの取り組みなどを充実・強化し、ごみの減量化に向けた取り組みを進めます。また、家庭系ごみ処理手数料については、適正化の検討を進めます。
実績	広報ひらかたにより、紙類のリサイクルの促進、ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別・適正排出の徹底及び食品ロスをなくすため「食べのこサンデー」運動の取り組みに関する記事を掲載し、周知を行いました。平成30年度に持込みごみ・臨時ごみから回収する布団のリサイクル及び水銀使用廃製品の拠点回収を開始するための準備を行いました。家庭系ごみ処理手数料の適正化については、事例調査等を進めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
28. 事業系ごみ処理手数料の適正化	廃棄物の処理及び清掃に関する法律による排出者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう、事業系ごみ処理手数料改定によるごみ減量の効果を検証します。
実績	近隣市との情報共有を図り、効果の検証を行いながら、先進市の視察結果もふまえ、ごみ量の推移等の比較による効果の検証を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-4. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（し尿等処理・施設管理業務）	希釈放流施設に整備することで、処理設備が簡素化するため、運転管理に民間活力も視野に入れた検討を行い、職員配置の適正化を図ります。
実績	安定した処理を最優先課題として、職員配置について検討を行いました。設備の修繕頻度や修繕内容の検証及び緊急時対応が必要なため、当面は直営による運転管理を実施し、並行して効率的・効果的な民間活力の活用に向けた検討を行っていきます。 し尿収集車の減車については、収集経路の見直し等を行い、前倒しをして平成 29 年度から開始しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-5. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ収集業務）	市の責務として市民生活に著しい影響を与えないため、セーフティネットを確保しながら、段階的（平成 29 年度から平成 31 年度の間において、1 台/年・計 3 台）な委託化を進めます。
実績	平成 29 年度からの 3 年間で直営車両 3 台の段階的な委託（1 台/年、計 3 台）を目指すため、平成 30 年度における委託車両の増車に関し、受託業者や他課との調整等をし、変更契約等の手続きを行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-6. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ処理・施設管理業務）	東部清掃工場は、今後も運転管理等の業務は民間に委託して、施設を運営します。一方、老朽化が進む穂谷川清掃工場については、長年施設の運転・維持管理業務を担ってきた職員の知識・経験・技術力が必要であることから、直営と委託の併用で運転管理を行います。また、平成 35 年度の第 3 プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行います。
実績	東部清掃工場においては運転管理業務を委託しており、その監理・監督に、豊富な知識、経験、技術を持った技能労務職員が携わることで、安定的かつ効率的な運転管理体制を維持しました。 穂谷川清掃工場に関しては、引き続き、平成 35 年度の第 3 プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
51. 広域連携によるごみ処理施設の整備	枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の整備について、京田辺市と連携を図りながら、平成 35 年度の稼働に向けた取り組みを進めます。
実績	組合が実施する環境影響評価等の事業について、構成市及び組合で組織する運営協議会において、協議・調整するとともに、円滑にごみ行政を含めた広い視野での相互交流・協力について協議する体制として、平成 29 年 10 月に両市長・担当副市長・担当部長を委員とする「ごみ行政に係る政策連絡調整会議」を設置し、平成 30 年 1 月に会議を開催しました。また、組合による環境影響評価配慮書や環境影響評価方法書の作成・提出が行われました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
環境教育・環境学習の充実	学校園の環境教育・環境学習の効率化を図り、「いつでも・どこでも・だれでも」をキーワードに、あらゆる世代が多種多様な機会や場所で分野横断的に受講できる体系の再構築を検討します。
実績	あらゆる世代が多種多様な機会や場所で分野横断的に環境教育・環境学習を受講できるよう、環境教育・環境学習のメニューを取りまとめたパンフレットの作成や申込書の様式を統一することにより、業務の効率化を図りました。 また、中学校の環境学習メニューを全学年で統一することで、効率化して取り組みました。高校 2 校 441 人、中学校 3 校 435 人、小学校 41 校 5,632 人、幼稚園 保育所 保育園 34 園 4,133 人、延べ 10,641 人に対して環境学習を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	無事故・無違反チャレンジコンテストへの参加や安全運転・安全作業マニュアル研修等の実施など、公用車の事故防止対策の充実を図ります。
実績	無事故・無違反チャレンジコンテストに 157 人が参加しました。 安全運転作業研修 (DVD [危険を予測・回避するポイント 命はひとつ!])、事故事例研修、安全運転実技 (誘導) 研修を行いました。 安全運転掲示板に毎月、枚方市内の危険箇所を掲示し、職員周知を図り交通事故防止に努めました。 12 月～翌年 3 月にかけて、毎月の安全活動のテーマを決め、交通事故防止に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
知識・技術継承のための取り組み	より効率的・効果的な業務の体制づくりのため、新たな業務マニュアルの作成等に取り組むとともに、既存の業務マニュアルの最適化に努めます。
実績	専門的技術や知識を継承するために、新たに環境影響評価手続き事務処理マニュアルの作成を行いました。また、既存の業務マニュアルについて点検を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆ 溶融飛灰に含まれる金属などを山元還元により資源として再利用するとともに、溶融スラグを土木資材等への活用を具体的に検討することで、焼却灰等の最終処分（大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立処分）に係る経費の削減をめざします。

実績	溶融飛灰 562.90 t を山元還元により資源化しました。また、スラグの利用拡大を図ることを目的として「枚方市溶融スラグの利用促進等に関する方針」の改定及び「スラグ入りインターロッキングブロックの利用基準」の策定を行い、198t のスラグを再利用しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆ 穂谷川清掃工場、東部清掃工場及び大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、平成 29 年度は、約 3 億円の収入を見込んでいます。



穂谷川清掃工場



東部清掃工場

実績	<p>総発電量 8,229,330kWh の 40.6%にあたる 3,337,991kWh の電力を売却し、3,007 万 5,291 円の売電収益を得ました。（穂谷川清掃工場）</p> <p>総発電量 28,547,300kWh の 50.1%にあたる 14,293,437kWh の電力を売却し、2 億 63 万 1,845 円の売電収益を得ました。（東部清掃工場）</p> <p>枚方ソラパの平成 29 年度の売電収入は、3,082 万 6,521 円となり、リース料を除いた売電収益は、977 万 1,921 円となりました。（環境保全課）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市施設への太陽光発電設備のさらなる設置に向け、国・府の補助金の動向を注視し、その活用をめざします。

実績	国の補助金を活用し、枚方保育所に太陽光発電設備（4.3kW）を導入しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆定期的な部内会議・次長会議を通じて、組織目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行い、部内各課が連携・協力しながら、より効率的・効果的に事務を執行します。

実績	次長会議を13回開催し、目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆現場での業務経験の蓄積や個々の研修成果を部内・課内で共有化することで、組織全体の技術力や知識などのレベルアップをめざします。

実績	<p>日常的な指導育成や市民・窓口対応以外に、現場で重点的に取り組む項目を予め設定し、研修を行うなどの取り組みを行いました。また、その内容を記録し、現場担当係長間で共有できるようにしました。その他、他市視察の職員による報告会や消防訓練を実施しました。</p> <p>一方で職員の技術力向上をめざし、ごみ処理施設技術管理者及び最終処分場技術管理者の資格取得についても積極的に取り組みました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆OJTをはじめとする研修の充実を図り、職員一人ひとりのスキルの向上にも努めるとともに、お互いに学び合う風土を醸成することで、自律型職員の育成に努めます。

実績	<p>日々の朝礼や適時ミーティング等において、各担当に係る事案や課題、進捗状況などの共有化を図ることで、職員一人ひとりの意識の向上を図り、職員の育成に取り組みました。また、自律型職員の育成に向けても、職場研修の講師を順番制で行うなど、自ら研修目的を理解し、研修を実施しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆穂谷川清掃工場内のひらかた夢工房において、市民ボランティアによる講習会や発表会等を開催するなど、ごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。



ひらかた夢工房

実績	ひらかた夢工房内の市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを計 23 回開催し、196 人の参加がありました。 「ひらかた夢工房」発表会を多くの人が集まるごみ減量フェアと同時開催し、工房には 1,178 人の来場がありました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆ごみ減量フェアや天の川クリーン&ウォーク、氷室ふれあい里の駅等を「環境フェスタ」として一体的に開催するとともに、自然観察会や講演会の開催、各種啓発キャンペーン、ひらかたクリーンリバーなど、市民等と連携したイベントを実施し、効果的な環境啓発を行います。

実績	平成 29 年 11 月 5 日にごみ減量フェアを実施し、4,000 人の来場者に対し、4R の取り組みなどの啓発キャンペーンを行いました。 水辺の楽校やセミの抜け殻調査など自然観察会を 5 回実施すると共に、自然環境を考える講演会を開催しました。(参加者：259 人) また、天の川クリーン&ウォークや船橋川・穂谷川クリーンリバーに対する支援を行いました(参加者：1,023 人)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆サプリ村野の環境情報コーナーの展示をさらに充実させ、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、省 CO₂ 活動や市の環境保全活動を効果的に PR します。

実績	環境情報コーナーにある枚方の生き物展示コーナーにおいて、昆虫標本を充実させるとともに、エコドライブシミュレーターの使用や省エネナビの貸出しなどを行い、省 CO ₂ 活動や環境保全活動の PR を行いました。平成 29 年度は研修室 128 回 1,212 人、環境情報コーナー 3,029 人の利用がありました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆穂谷川清掃工場や東部清掃工場、大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」において、小学生等の施設見学を通じて市の環境施策を発信します。



枚方ソラパ

実績	<p>小学生や一般市民等を対象に施設見学を実施しました。</p> <p>穂谷川清掃工場 （施設見学者数：791人） ※減量フェア 350人含む</p> <p>市民や伊加賀小学校4年生を対象とした見学会を開催するとともに、各種団体等を対象とする見学会を合計5回開催しました。（見学者数：140人）</p> <p>東部清掃工場への来場見学数は、79団体、計4,424人でした。また、環境フェスタ氷室ふれあい里の駅は台風接近による荒天のため、中止となりました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆大阪府からの事務移譲に伴う新たな事務について、広報誌やホームページ等によりわかりやすい窓口案内を行います。

実績	<p>対象事業所に対して個別にメールにより案内を行いました。また、窓口へのチラシの設置や、ホームページにより新たな業務の概要など、丁寧でわかりやすい案内を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	